

- 1 会議名 議会運営委員会
- 2 日 時 令和元年10月28日(月)
開会 午前10時10分
閉会 午前10時46分
- 3 場 所 正・副議長応接室
- 4 出席議員 (委員長) 須藤智子 (副委員長) 鬼頭博和
(委員) 片岡健一郎、堀 巖、榊谷規子
梅村均議長、関戸郁文副議長、宮川議員、大野議員、水野議員
- 5 説明員 議会事務局長 丹羽至、同統括主査 寺澤顕
- 6 委員長あいさつ
- 7 議長あいさつ
- 8 協議事項

(1) 新年度予算について

議会事務局統括主査：資料に基づき説明

榊谷委員：特別委員会に係る旅費であるが、正式名称は何であったか。

議会事務局統括主査：「自治会・町内会の縮小、解散問題に関する特別委員会」である。

榊谷委員：それを岩倉市議会が手を挙げたのか。立候補の経過を教えてください。

梅村議長：愛知県市議会議長会の会長である小牧市議会議長から愛知県内での取りまとめを行うので、参加を希望する場合は報告するようにとの依頼があった。来年度、岩倉市議会は、全国市議会議長会の社会文教委員会の委員が確定しているので迷うところではあったが、議会での行政区全体の見直しの意見もあったなか、役立てられる情報もあるのでと考え立候補するに至った。内容的にも学びたいという思いがある。社会文教委員会は持ち回りで該当するが特別委員会は任意の委員会のようなものである。

大野議員：参加は賛成である。途中途中での経過を全員協議会等で報告いただきたい。

梅村議長：了解する。

須藤委員長：回数は年にどれくらいか。

榊谷委員：4回である。

須藤委員長：いずれも来年度か。

梅村議長：そのとおりである。その意味で議長が複数年任期制でないと次年度のために勝手に申し込むわけにもいかない。

堀委員：2年任期の2年目であったり、4年目であっても議運に諮って機関

決定すれば良いと考える。

堀委員：会議録検索システム委託料であるが、元号切替によるプログラム修正費用は削ってはいるが、システム運用のための委託料金に変更がない。

これは複数年にまたがる契約のため、増税分の変更がないのか。

議会事務局統括主査：申し訳ありません。この委託料のみ、見積りがまだ届いていない。

大野議員：これ以外にも増税による予算増は見受けられるのではないか。

議会事務局統括主査：この委託料のみである。

須藤委員長：この項目のみ予算額が変更されるかもしれないということで良いか。

議会事務局統括主査：そのとおりである。

須藤委員長：大方の質問も出尽くしたようである。説明のとおり予算を計上していくものとする。

(2) 「市議会サポーターの声」について

議会事務局統括主査：資料に基づき説明

資料のとおり、「市議会サポーターの声」回答とすることに決した。

(3) その他

特になし。

9 その他

特になし。